

北海道の健康課題に対する 取組と今後について



北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係
令和 6 年度地域・職域連携推進専門部会

主な取組と今後について（～特定健診編～）

・特定健診普及啓発イベント（一般住民向け）

【取組内容】

特定健診普及を目的にH25年から、札幌市・協会けんぽ北海道支部・道で特定健診普及啓発イベントを開始。（H27年～北海道労働保健管理協会が加わる）

例年、健康チェックやパネル展示等を行っている。R5年度まではアリオで開催していたが、広く道民に周知するためR6年度はチカホで開催。

【今後について】

健康について興味・関心を持ってもらい特定健診受診のきっかけとなるようなイベントとして引き続き実施。

現在、共催機関と内容について検討中（R7年は11月にチカホで開催）

主な取組と今後について（～特定健診編～）

・特定保健指導従事者の資質向上のための研修会（支援者向け）

【取組内容】

①『生活習慣病予防のための人材育成研修会』

保健指導初任者を対象に生活習慣病の病態の基礎知識や保健指導の演習を実施。

②『保健指導従事者セミナー』

田辺三菱製薬株式会社と共催で糖尿病の基礎知識・疾患理解をテーマに保健指導従事者の指導力向上を目指し研修会を開催。

（行政・医療機関の保健師・管理栄養士を対象）

【今後について】

両研修とも、次年度も開催予定。

主な取組と今後について（～普及啓発編～）

・生活習慣病予防に関する情報発信等（一般住民・支援者向け）

【取組内容】

① 慢性腎臓病に関する普及啓発動画を作成（R6年～道のHPに掲載）

<https://www.youtube.com/embed/KL-wNPWSeRg>

② 減塩リーフレットの配付

【今後について】

- ・慢性腎臓病に関する動画について、予防をメインとした内容の第2弾を作成予定。
- ・減塩リーフレットについて一部内容（塩分摂取量、グラフ）を修正予定

主な取組と今後について（～普及啓発編～）

・生活習慣病予防に関する情報発信等（支援者向け）

【取組内容】

生活習慣病（循環器病等）の研修会（保健所・市町村と共催）
北海道医療連携ネットワーク協議会の協力を得て、今年度は倶知安町と新ひだか町を対象に「心不全の予防と管理」をテーマに研修会（講義＋グループワーク）を開催

【今後について】

高齢者等に関わる医療・介護職が心不全に関する正しい知識を持ち、心不全の悪化を早期に発見することができるよう、次年度も数カ所で研修会を開催予定。

主な取組と今後について（～地域・職域編～）

・二次医療圏地域・職域連携推進事業担当者会議（二次医療圏向け）

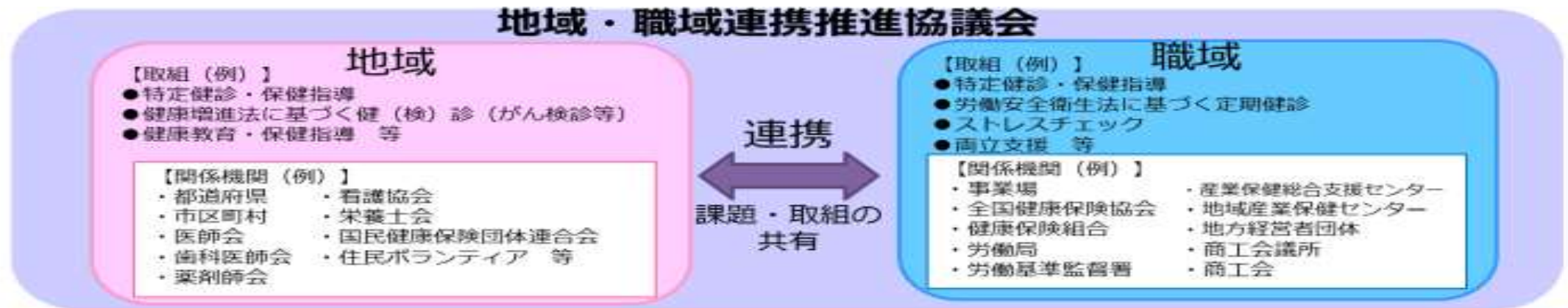
R6年度『二次医療圏地域・職域連携推進事業担当者会議』を開催

【経過】

R5年度に各圏域における連絡会の開催状況について実態把握のための調査を実施。

その結果、圏域の連絡会の開催について「職域側に参加してもらうためのテーマ設定の難しさ」や「話し合いが情報交換に留まりそれ以上の検討に至っていない」こと、長期間未開催の圏域については開催に向けたハードルの高さを感じていることがわかった。

地域・職域連携推進事業の意義



地域・職域連携のメリットの共通認識

1) 効果的・効率的な保健事業の実施

- (1) 地域及び職域が保有する健康に関する情報を共有・活用することにより、地域全体の健康課題をより明確に把握することが可能となる。
- (2) 保健サービスの量的な拡大により対象者が自分に合ったサービスを選択し、受けることができる。
- (3) 保健サービスのアプローチルート拡大に繋がり、対象者が保健サービスにアクセスしやすくなる。
- (4) 地域・職域で提供する保健サービスの方向性の一致を図ることが可能となる。

2) これまで支援が不十分だった層への対応

- (1) 働き方の変化やライフイベント等に柔軟に対応できる体制の構築により、生涯を通じた継続的な健康支援を実施することが可能となる。
- (2) 被扶養者等既存の制度では対応が十分ではない層へのアプローチが可能となる。
- (3) 小規模事業場（自営業者等も含む）等へのアプローチが可能となり、労働者の健康保持増進が図られる。

PDCAサイクルに基づいた具体的な取組

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) 現状分析 | (4) 連携内容の決定及び提案 |
| (2) 課題の明確化・目標設定 | (5) 連携内容の具体化・実施計画の作成 |
| (3) 連携事業のリストアップ | (6) 連携事業の実施 |
| | (7) 効果指標並びに評価方法の設定 |

目指すところ

健康寿命の延伸や
生活の質の向上

生産性の向上

医療費の適正化

二次医療圏地域・職域連携推進事業担当者会議

- 1 日 時 令和6年11月6日（水）13:30～15:00
- 2 方 法 Zoomによるオンライン開催
- 3 出 席 計37名（20保健所）（※対象：保健所の地域・職域連携推進事業担当者）
- 4 内 容
 - （1）地域・職域連携推進事業について（道地域保健課から）
 - （2）南檜山地域・職域連携推進連絡会の取り組み（江差保健所から）
 - （3）協会けんぽの取組について（協会けんぽから）
 - （4）各圏域の取組について情報交換各圏域の取組状況や開催において工夫している点などを情報交換した。

二次医療圏域地域・職域連携推進事業担当者会議

5 結果（終了後のアンケートから抜粋）

- ・構成機関からの意見を引き出せるかがポイントとなることがわかった
- ・コロナ禍で開催が途絶えており、何から手をつけたら良いか悩んでいたが、少しずつ所内外の関係者と連携を図りながら進めていきたい。
- ・協会けんぽの取組（ベジチェックの貸出等）を知ることができ地域で情報共有したい
- ・まずは市町村、職域の捉えている課題を聞きながら取組を進めていきたい
- ・一覧表だけではわからない具体的な圏域の取組がわかったので参考にしたい

6 会議で取り上げて欲しいテーマや情報（アンケートから抜粋）

- ・ 職域に地域の健康づくりに関心を持ってもらうために工夫したことを知りたい
- ・ 商工会議所や商工会が事業所へ健康経営の啓発を行っているか知りたい
- ・ 団体や事業所等への普及啓発の工夫があれば知りたい
- ・ 各圏域で企業と連携した例があれば知りたい
- ・ 本庁から連携可能な企業を紹介してもらいたい
- ・ 各圏域の会議で意見交換や活発な発言があったテーマがあれば教えてほしい。

7 【今後について】

圏域の地域・職域連携の推進・活性化のため、次年度も会議を開催し圏域からの取組の報告や情報交換を行っていく予定。